

銚子ジオパーク市民の会 ニュース

潮風ヶ浦 (銚子市)

第 89 号

2018年10月25日 発行

発行責任者 工藤 忠男

編集責任者 藤身 隆雄

TEL 0479 24 2225

http://choshi-geopark.com/

第9回日本ジオパーク全国大会

アポイ岳大会に参加して

工藤 忠男

(開発・社会)です。この、

2018年ジオパーク 持続可能な開発目標 (SDGs) は2015年の 全国大会は10月6日よ D G s) は2015年の 8日まで北海道の様似 国連サミットで採択され 町で行われました。町の た「持続可能な開発のた 人口は4千3百人位です めの2030アジェンダ」 が、全国大会参加者は約 に記載された2030年 7百人といわれ、大会時 までの国際目標です。

会場周辺は活気に満ちて います。

銚子ジオパークは他 大会初日の基調講演は 地域のジオパークとの交 世界ジオパーク・ネット 流は盛んですが、もう一 ワーク会長、ギリシャ・ つの持続可能な発展につ エーゲ大学教授のニコラ いては、次の再認定の時 ス・ゾウロス氏による までには考えなければな らない大切な事かと思い 「ジオパークの魂・世界 ました。減災・防災分科

ジオパークネットワーク の活動」です。英語での 講演ですが日本語訳付き です。世界各地のジオパ ークの例をあげながらの 講演です。

ジオパーク活動で大切 な事はジオパーク・ネッ トワークを通しての情 報・アイデアの共有、 それと持続可能な発展



第9回日本ジオパーク全国大会

分科会④に参加して

分科会④ 「備えあれ ば憂いなし」 ガイドツアーのリス クマネジメ ント分科会 2日に分 けて開催さ れました。

初日は、ナ キウサギな ど希少生物を探すプレジ オツアー「プロガイドと 歩く『風穴の森』トレッ キングツアー」の報告を、 とかち鹿追ジオパーク (以下 GP) の松本宏樹 氏が言い、次に筑波山地

域 GP の高田 正澄氏が「ガ イドジオツア ーの安全管理」 として、ガイ ドが携帯すべ き装備品の話 をしました。

参加者は6 人ずつ6つの

KON-SAI (昆虫祭・根菜)

ジオツアー 日 丸瀬布

房州 文子

10月3日から2泊3 日のプレジオツアーに内 匠さんと参加しました。

今年の日本列島は災害続 きで、北海道も1月の豪 雨でツアーコースの山道 が寸断され大急ぎで復旧 したら、8月の台風でま た壊れ、9月には地震、 大会前日まで台風で飛行 機が飛ばしと気をも んでの開催でした。

羽田から旭川へ飛び、 旭川空港で集合。ツアー の参加者は、私たちが含 めて11名。皆さん黒曜石 の大好きな方々でした。

着いた当日は「じやが いも選別体験」。翌日は、 朝6時から遠軽のシンボ ルであるインカルシ(か んぼう岩という高さ78 mの大きな岩にのぼって 町を一望。そして黒曜石 の石器作り体験。作った 石器で、シカと熊の肉を 切ってバーベキュー。山 彦の滝にも行って、滝の 裏側にはいりました。地 元の黒曜石研究家の私設 博物館にもおじゃまし ました。

イランカラプテ *イランカラプテ 今日逢えてよかった 君に逢えてよかった 今日逢えてよかった

イランカラプテ *イランカラプテ 今日逢えてよかった 君に逢えてよかった 今日逢えてよかった

イランカラプテ *イランカラプテ 今日逢えてよかった 君に逢えてよかった 今日逢えてよかった